

# ただ今、育児休業中

K・T さん



私は、平成21年4月1日から9月30日までの半年間、育児休業を取得しました。現在、育児休業中です。わずか2カ月しか経過していませんが、これまでの私が経験した育児について、また育児休業を取得するにあたっての想いを綴ってみようと思います。

私には去年10月に第1子が誕生しました。実際に子供が産まれると、やはり愛おしく思うし、仕事から帰ると子供の日々の成長や出来事を妻から聞いたりすると、私ももっと子供と触れ合う時間があったらいいなあと考えるようになりました。それから育児休業について意識し、取得を考えるようになりました。ただ、「生後5か月の子供の世話をできるのだろうか?」「ほ

んとに仕事を休んで育児をしてよいのだろうか？」など育児休業の取得に躊躇する思いもありました。しかし、何十年と生きていく中で、子供からすべてを委ねられ、1日中一緒に時間を過ごすことができるのは、ほんの短い期間だけであり、それは子どもにとっても、父親と触れ合う大切な時間となり、私の人生においても貴重な体験となると確信するようになりました。

私の育児休業の取得については、妻も賛成し、職場の理解も得られ快く受け入れてもらうことができたため、平成21年4月1日から育児休業をスタートすることができました。(同時に妻は仕事に復帰する。)

育児休業が始まった1週間は、不慣れではありましたが、ミルクやおむつ替えを無難にこなせている自分がいて、なんとかやっていけるなあと感じていました。ところが2週間ぐらい経つと日々の単調な生活の繰り返しで、原因不明の子供の泣き声にストレスを感じることもありました。そんな時は、妻が仕事を終え家に帰ってくるのを待ちどおしく思ったりもしました。とは言え、子供の笑顔やちょっとした仕草をみているととても幸せな気持ちになり、そのようなストレスを忘れさせてくれま

す。

また、この2カ月の間で、体は大きくなり、動きも速くなり、歯も生えてきました。子供の成長は早いものだと感じると同時に、育児をしているからこそ、日々の子供の変化にいち早く気づき喜びを感じることが出来ます。子供が成長し大きくなったとき、子供にこの時の記憶はないでしょうが、この時に深めた親子の絆は、なにかしら子供の心にも刻まれていると信じています。

一生のうちで、子供とこれほどまでに時間を共有することができる機会はありません。何物にも代えがたい時間を過ごすことができています。私は、幸いにも育児休業を取得できましたが、みなさんも育児休業を取得できる状況にあるのであれば、取得することをおすすめします。

